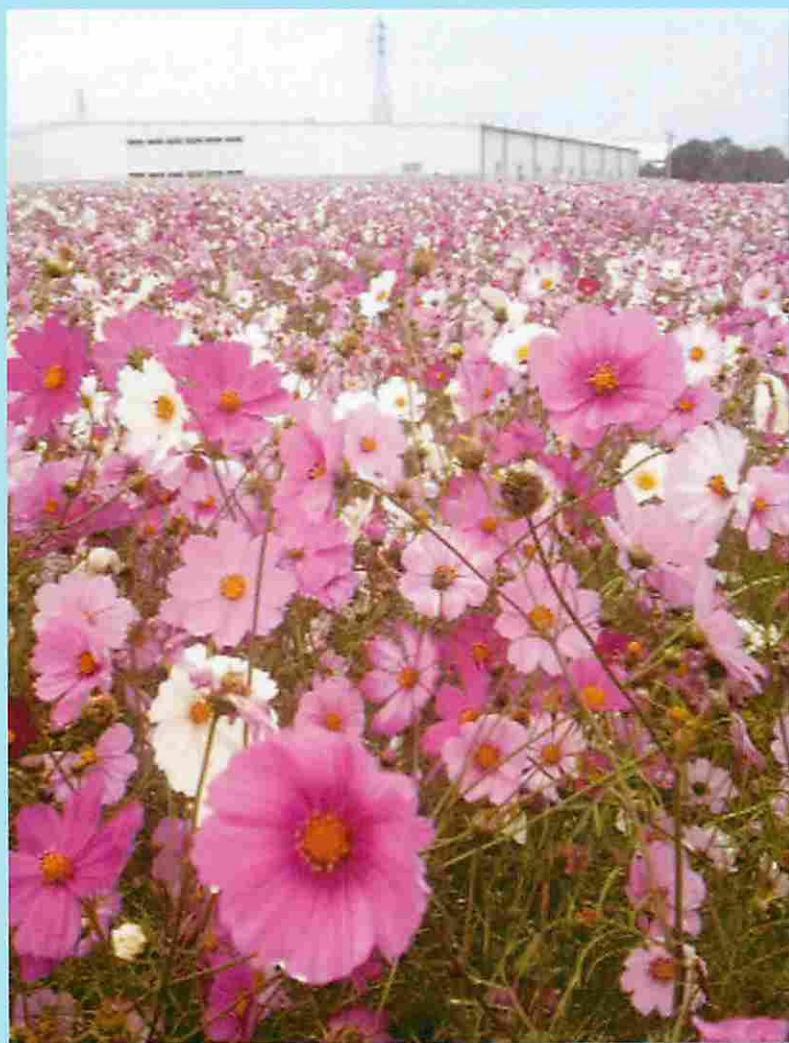


# 中岳



三齒会

第28回九州八市歯科医師会役員連絡協議会



熊本市歯科医師会会誌

第147号

## 目 次

|                                          |              |
|------------------------------------------|--------------|
| 巻頭言 .....                                | 稲葉 逸郎 副会長… 1 |
| 第49回熊本県学校保健研究協議大会.....                   | 2            |
| 三歯会.....                                 | 4            |
| 第1回熊本市エイズ総合対策推進会議.....                   | 6            |
| 子育てすくすくこども博2009.....                     | 7            |
| 国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会.....              | 8            |
| 有病者歯科医療研究会講演会.....                       | 10           |
| 第28回九州八市歯科医師会役員連絡協議会.....                | 12           |
| 熊本市民健康フェスティバル.....                       | 13           |
| 入院入所者歯科診療運営委員会.....                      | 14           |
| 歯たちの健診.....                              | 17           |
| 平成21年度学校歯科医研修会.....                      | 18           |
| スタディー                                    |              |
| インプラント植立一週間後よりオトガイ部の知覚鈍麻をおこした一症例 …入佐 弘介… | 20           |
| 寄稿「ミラーニューロンと自閉症」.....                    | 遠山 啓介… 24    |
| 熊本市歯科医師会理事会親睦ゴルフコンペ観戦記.....              | 27           |
| 移動理事会報告.....                             | 28           |
| 委員会紹介.....                               | 30           |
| スポーツの広場.....                             | 33           |
| 新入会員紹介.....                              | 34           |
| 会務報告.....                                | 35           |

### 表紙のことば

コスモスの花言葉は「乙女の愛情」らしいです。本来はギリシャ語で「飾り」「秩序」「調和」という意味らしく、現代社会にもっとも必要なものではないかと考えさせられます。たくさんのは感動と安らぎを感じますので、季節ごとの花畑を楽しみましょう。

(Y.O)

## 『チェンジそしてチャレンジ』



稲葉逸郎 副会長

この度、熊本市歯科医師会の副会長を仰せつかり、その職責の大きさと重さを感じております。

8月30日の衆議院選挙で民主党の300議席以上の大躍進と自民党の大敗退には驚きました。政権交代という大きな変革が行なわれ2ヵ月以上がたちました。民主党のマニフェストに沿ったさまざまな改革が行なわれようとしています。今まで手をつけられなかったダム建設問題や他の公共事業などが改めて見なおされています。今までの古い自民党体質や古い官僚的考えが国民に通じなくなって来ています。

今まで知らされていなかった情報、資料などが色々出てくるなど政治の世界は確かに変わって来ています。歯科の世界も変化が求められて来ていることが実感されます。患者さんの意識や歯科医院に求めているものが変わってきているのに現場の我々歯科医が昔の意識で対応しては信頼は得られません。

今こそ“われわれ歯科医師は日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである”という歯科医師の倫理綱領を思い出し、日々の診療に向う気持が必要とされる時だと思えます。

社保関係で今、最も関心があるのが2011年から始まるレセプトオンライン化ですが、民主党政権になって11月26日付けでレセプトオンライン請求に関する厚生労働省令改正及び告示制定があり、歯科関連については、①診療報酬の請求方法について、オンライン請求のほか電子媒体による請求も可能とする。②手書きで診療報酬請求を行う歯科医療機関について、オンライン又は電子媒体による請求への意向を免除する。③常勤の歯科医師がすべて高齢者（65歳以上）の診療所（既に電子レセプトによる請求が可能な診療所を除く）について、オンライン又は電子媒体による請求への移行を免除する。④電子レセプトに対応していないレセコンのリース期間又は減価償却期間が終わるまでの間の医療機関について、オンライン又は電子媒体による請求への移行を猶予する。（最大で平成26年度末まで）となっています。以前の月平均50件（年間600件）から大巾に変わり、高齢者（65才以上）の先生も閉院するなど考える必要はありません。各医療機関の事情も少し配慮されている所は評価できると思います。しかし民主党はレセプトオンライン化を完全義務化から原則化に改めるとの政権公約を掲げていた点からは、まだまだ長妻昭厚生労働大臣の発言を注視する必要があります。

いずれにしてもレセプトオンライン化については十分な用意はしておくべきでしょう。今後の省令の改正等を期待します。

今回初めての民主党政権下での診療報酬改正が行われますが、それについても医師会、歯科医師会、薬剤師会の中医協での参加、意見がどのように反映されるのかまだまだ問題はあります。中医協の任期切れの新しい委員に日医推薦枠はゼロとなり、政権交代の影響を受けていると考えざるを得ません。歯科の渡辺常務は任期中なので残られてはいますが、今後の動向を見守る必要があります。

国政も確実に変わってきています。市歯科医師会も公益法人改革で定款の変更も必要ですしこれから変わっていかなければいけません。チェンジすることはチャレンジすることであり、我々歯科医師会会員も新しく変わることにチャレンジすることが大切となり、進んで行く必要があります。

今後の市歯科医師会の活動に御協力をお願い致します。

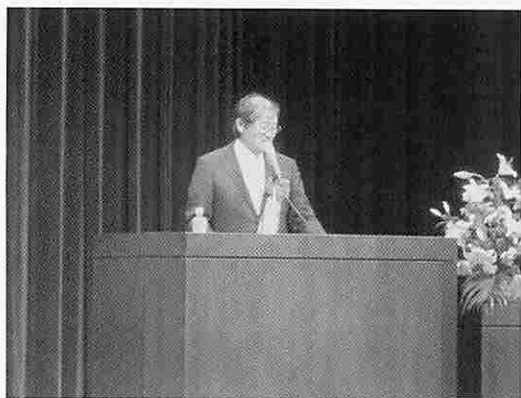
# 第49回熊本県学校保健研究協議大会



第49回熊本県学校保健研究協議大会が、8月23日（日）、八代市鏡文化センターで開催された。当日、インフルエンザ予防のため、受付に消毒アルコールとマスクが準備され、ほとんどの養護教諭の人たちは、マスクをしていたため、人相がわかりづらく、異様な感じであった。

午前中、「AD/H D治療ゴール：学校、医療、家庭間の上手な連携」の演題で山下裕史郎久留

米大学医学部小児科准教授の特別講演があり、  
\*AD（注意欠陥）／HD（多動性障害）をもつ子どもたちのための集中治療プログラム、サマー・トリートメント・プログラムを久留米市内の小学校で実践している様子をVTRで紹介し、子どもたちが適切な行動をとるとポイントがもらえ、不適切な行動をとるとポイントを失うシステムを導入し、目標を達成するとスタッフや保



護者でほめたりごほうびをあげたりしていく様にして、有意な改善になっていたことを報告された。

子どもたちはほめることにより、ドーパミンの放出があるといわれているそうです。



午後より、班別研究協議会となり、5班の「歯・口の健康づくり」確かな健康観と実践力を育てる歯・口の健康づくりの進め方の研究発表会場へ参加した。そこでは荒尾第三小学校と菊池市北部の小学校9校、中学校2校のとりくみの発表があった。3校とも、学校歯科医の先生がPTA向けや子どもたちに講話をされ、歯科衛生士によるブラッシング指導も行なわれ、菊池の小学校では養護教諭や学校歯科医のブラッシングの個別指導が実施され、口腔写真撮影を行なうという徹底ぶりですごい。



その後、指導助言者として熊本県歯科医師会大林裕明理事が開業して間もないころの小学校の健診の状態で、あまりにも口腔状態がひどく



ておもわず口を閉じさせてしまったこと、これじゃいかんと学校に乗り込んで、口の健康教育を行ったこと、またそれが実を結んで小学校のころ習った子どもが親となり、子どもをつれてきたことを講話されていました。子どものころに歯の大切さを洗脳させないといけないうづく思わされた一日でした。

#### ※AD(注意欠陥)/HD(多動性障害)について

AD/HDは、その名の通り、注意不足、多動、衝動性が特徴的な症状で、幼少時から発症する発達障害もしくは行動障害。

年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で社会的な活動や学業の機能に支障をきたすもの。

#### AD/HD児の主な特徴

1. 集中力が持続できず、注意が散漫になる。
2. 絶えず、落ち着かず動き回る。
3. 衝動的で興奮しやすい。等

(学校歯科 井手裕二)

## 活発な意見交換が行われる

——恒例の三齒会が開催される——



9月3日（木）19時30分より、歯科医師会館にて三齒会が開催された。最初に、藤波好文熊本市歯科医師会副会長が開会の挨拶として、新型コロナウイルス対策や、医療の質、安全管理の向上などについて市民の理解を得られるよう、三齒会で取り組んでいこうという趣旨の発言をされた。次いで、歯科技工士会会長の玉置泰伸様、歯科衛生士会熊本市支部長の植由紀子様より開会に際しての挨拶があった。今回は役員、委員の入れ替わりもあったため出席者全員の自己紹介が行われてから意見交換が始まった。

まずは宮本格尚医療管理理事より、現在の熊本市歯科医師会新執行部についての説明があった。



次に、歯科技工士会会長より、歯科技工士会会員の減少という状況に関して、歯科医師会への要望として、各歯科医院で歯科技工士の歯科技工士会への入会を推奨してほしいと述べられた。それに対して、歯科医師会側からは、できる限り協力をしていくが、歯科技工士会に入会するメリットをもっと増やし、それをアピールしていかないと会員の増員は難しいのではないかと意見が述べられた。歯科技工士会としては、毎年新卒者に対する勧誘などもしているがあまり効果は出ていないとのこと。また、市民に対する会のアピール活動としては、市民センターなどで行われる市民の集いなどでの石膏人形への色づけ体験コーナーで、色付けを行いながら口の健康についての話をするなどの啓蒙活動を行っているとのことであった。

次に、歯科衛生士会市支部長より、歯科衛生士会の活動報告が行われた。平成20年度は、歯の衛生週間でのイベントや、熊本市子ども文化会館での歯科健康相談、小学校での歯磨き巡回指導、市立幼稚園でのフッ化物塗布事業、介護予防教室などが行われた。これらの活動は、非常に楽しく、社会への貢献という意味でもやりがいを持って行えているとのことであった。また、歯科衛生士会も毎年、会員の減少の問題

が大きな悩みで、先に述べたような会の活動も、会員が減少していくと、活動を展開すればするほど赤字は増えるというジレンマを抱えているという事であった。歯科医師会に対して、各歯科医院の歯科衛生士に対して、歯科衛生士会への入会をもっと積極的に促してほしいとの要望があった。歯科衛生士会としての、入会のメリットとしては、歯科衛生士会主催の講習会の受講料が安価なこと、講習会や会報などにより様々な情報を得ることができること、さらにそれらのことにより各歯科医院の衛生士や医院全体のレベルアップにつながることで、市民への啓蒙活動を通して社会貢献を行える、などが挙げられる。会員獲得に関しては、非会員でもいいのでまずは歯科衛生士会主催研修会に参加してもらい、そこで会の活動や入会のメリットなどをPRしてはどうかとの意見が述べられた。また、歯科衛生士会も新卒者に対して入会の勧誘を行っているが、入会しても1年くらいで退会してしまうケースが多く、中には一月あたり千円の会費を払えないとの理由で辞める会員も少なくないとのことであった。

歯科医師会から歯科技工士会、歯科衛生士会に対し、それぞれの会が会員向けに携帯電話やパソコンのメーリングリストを作成し、新しい材料、研修会、求人その他の様々な情報をいち早く届けるようなサービスを行ってみてはどうかとの提案があった。会員間で、新しく価値のある情報を、迅速に、しかも低コストで伝達することができ、このことは会に入会していることの大きなメリットになるので、会員獲得の効果もあるのではないかと考えられる。

最後にこれからの歯科界の展望として、歯科技工士、歯科衛生士の新しいなり手が少なくなっている現状から、これからどんどん数が減少していくことが考えられる。そのため、歯科衛生士は結婚・出産・育児などのため一度退職したが、復帰をしたいと考えている人材への情報提供や研修の場を作ること重要ではないかと思われる。また、これからの高齢社会に伴い、訪問診療や介護などの分野で歯科衛生士が活躍



できる場は決して少なくないし、歯科医師、歯科技工士も摂食嚥下、口腔ケアなどの分野の理解を深め、こういった現場の質のレベルアップを三歯会全体で行うことが重要ではないかとの意見が述べられた。来年の3月31日には有病者歯科医療研究会主催の第2回目の口腔ケアの研修会として、摂食・嚥下の研修会が予定されている。歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の多数の参加が望まれる。

今後も三歯会でお互い忌憚のない意見交換をし、相互理解を深め、市民への質の高い医療の提供と、歯科界全体を魅力のある職場環境となるよう努力する事を約束して、閉会となった。

(医療管理 関 喜英)

## Whitney.Houston.-I.Look. To.You.

久しぶり、と思っていましたが、結構コ  
ンスタントに出してはいたんですね、この  
人は。でもデビューがあれだけセンセーシ  
ョナルだったので、なかなか次の代表作とい  
えるものが作れないうちにドラッグなんか  
にはまってしまったわけで。今度のはでも  
十分に聴きごたえがあります。

## 難治性の口腔カンジダ症はAIDSの可能性がある 第1回 熊本市エイズ総合対策推進会議



平成21年度第1回熊本市エイズ総合対策推進会議が9月14日(月)午後2時より、熊本市総合福祉センター(ウエルパルクまもと)で開催され、出席してまいりました。

最近は新型インフルエンザの影に隠れてあまり話題に上ることが無いAIDSですが残念ながらいまだに増え続けています。

熊本市に限ったことではありませんが特に男性同性愛者間の新規感染が目立っています。

しかしだからといって一般人の感染が無い訳ではありません。

何よりの予防法はやはり性行為にはコンドームを使うことです。自分の身は自分で守りましょう。

また、歯科医師として知っておきたいのは、AIDS患者にはほぼ100パーセント口腔カンジダ症が認められるという点です。

毎日の診療の中で絶対にAIDS患者に遭遇しないとは限りませんし、必ず全員が申告してくれるとも限りません。

難治性の口腔カンジダ症はAIDSの可能性もある事も記憶しておきましょう。

患者さん本人も気づいていない場合もありますから。  
(学校歯科 前田明浩)

### Neil Young-Neil Young Archives Vol. 1 1963-1972 8CD

デビュー前のひどい音からバッファロー-s、C S N & Y, with crazy horseとまあ私が一番好きだった時期の集大成です。DVD boxも出ていますが、さすがにそれは買えません。中身はいくつか未発表ものもありますが、Harvest, After The Goldrush, de javuなどなど聞きこんだ曲ばかりです。といっても8枚もありますから、おなかいっぱいになりますね。

# 子どもの健康見守ろう

## ～子育てすくすくこども博2009～

9月19日(土)、20日(日)の両日、グランメッセにおいてTKU「子育てすくすくこども博2009」が10:00～16:30で行われ、そこで我々も無料歯科相談を行いました。

19日は県歯が担当し、20日を市歯が受け持ち、当日は清村正弥会長、與儀実彦監事、井野健委員、後藤俊秀委員と私、齊藤忠継の5名による相談及び健診を行いました。

今回はおりしも大型連休にあたり、来場者数が心配されたところでしたが、例年どおりのにぎわいを見せていました。

歯科相談のほうにもぎわいを見せ、合計112人の方の相談を受けました。

このイベントは名前のごとく子どもが多く、しかも圧倒的に6歳以下の子ども達が占められていて相談相手もほとんどが未就学児です。従って相談内容も、歯並び、ブラッシング、指しゃぶり、などが主でたまに歯科健診が有る程度でした。

上の子が3～4歳で下の子が1～2歳、兄弟で相談、と言うケースがほとんどでしたのでブース内は両親、子ども達、歯科医師、デスクにベビーカーといっぱいっぱいの状態で相談を受けるので、結構きつかったと思います。

また、当然両親の年齢も若く子どもの健康には興味が有るが、それに対しての予備知識は若干乏しいと言う状態なので説明しても1回ではなかなか100%理解してもらえない、といった状況でした。

しかし、そんな中でも説明を理解して「ありがとうございました」と頭を下げて行かれる方を観ると、はたして自分の患者さんに同じ気持ちを与えられてるだろうか？と少し反省するところもありました。

ただ感心したのは、何処の家庭もほとんど「おとうさん」が付いて来てらっしゃる事でした。

髪の毛を染めた一見非協力的に見える「おとうさん」達が熱心に子どもに付き添ってる姿は、人は外見で判断してはいけないという言葉をも再認識させられる光景でした。

この事も日頃の診療の一助になる出来事で、それ以外にも勉強させられる事の多い収穫有る一日でした。

最後に、連休の為都合がつかなかった委員の代わりに出務していただいた清村会長、並びに与儀監事には深く感謝申し上げます。

(地域保健 齊藤忠継)

## Rod Stewart Soulbook(2009)

great american songbook 4部作で売れたもんだからってわけでもないんでしょうけど、次はソウル？ どうせならもっとディープな歌をやっつけてほしい気はします。まだまだたくさんR&Bの名曲は埋もれてますよ。メアリ J.やらS.ワンダーも手伝ってR&Bなのよ、と盛り上げてます。なかでも、J.レノンやなんかが歌った「You've really got a hold on Me」なんか、もっと聞かせてくれよ、と言いたいくらいさらっとこなしてます。来年はきっと「vol. 2」でるんでしょうね。

# 新病院完成

## 平成21年度第1回(通算第27回)国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会



平成21年度第1回開放型病院連絡会は、登録医の先生方をはじめ看護師、事務の方など多数の方が参加され、10月5日(月)19時00分より、国立病院機構熊本医療センター2階の地域医療研修センターホールにて開催されました。

開会に当たり国立病院機構熊本医療センターの池井院長が参加の方々にお礼を述べられた後、「新病院完成について、9月12日に新病院内覧会並びに落成記念式典、9月22日に患者移動を行い新病院での診療を開始致しました。新病院はこれまで通り熊本城二の丸に位置し、延床面積41,789㎡と旧病院の約1.9倍の広さになりました。主玄関のある4階が外来部門になり、救命救急センター外来、各診療科の外来診察室のほか、CT、MRIや血管造影装置などの画像診断センター、化学療法センターを設けました。5階は救命救急センターと手術センター透析センター、病棟です。6、7階も病棟になります。病床数はこれまでと同じ550床ですが、個室が151室、うち有料個室を現在の18室から107室に増やし、入院中の患者さんのプライバシーの確保やクオリティーの向上を図りました。救命救急センター病棟は34床から44床になり、手術センターは7室から10室、透析センターは10床から20床に増やし、新たにCCU(循環器集中治

療室)を開設しました。主玄関は4階で石垣の上ですが、新町側の道路近くの1階に歩行者用玄関をもうけ、ここからエレベーターで4階に上がれますので、悪評高かった国立の坂登が解消されました。またこれまでの25診療科を細分化して32診療科として、医療設備もCTはSIEMENS社製128列など2台から3台に増設し、放射線治療装置は最新式のものに更新し、診療機能の向上を目指しています。まだこれから旧病院の取り壊し、駐車場整備の工事が残っており、その間駐車場が手狭でご迷惑をおかけしますがご理解賜りますようお願い申し上げます」と報告されました。



続いて開放型病院運営協議会委員長の熊本市医師会長福田稔先生が挨拶をされました。福田先生は、この開放型病院の意義の再確認と、開放型病院の先生方と本院の病診連携が益々進むことを希望すると言われました。そして新病院になりましたも、これまで通り開放型病院、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院として、かかりつけ医の先生方のご協力のもと医療連携を推進して、さらに、救命救急センターを中心に病院全体で「何時でも」「何でも」引き受ける断らない救急医療を継続していくことを希望されました。



続く全体会議では、熊本市医師会理事の田中英一先生と河野副院長が総合司会として進行を担当されました。まず新病院紹介より放射線科医長吉松俊治先生から“放射線部門の新しい装置について”の講演がありました。「診断機器はX線撮影装置、透視撮影装置、乳房撮影装置、全顎撮影装置、CT装置、MRI装置、血管撮影装置およびSPECT対応型ガンマカメラなどを保有しています。すべてデジタル画像で、高精細モニターにて診断しております。放射線治療機器は、外照射用リニアック1台、腔内照射用ラーストロン1台があります。また、治療計画用のX線CTならびにシミュレーターを各1台保有しており、すべての治療は治療計画装置にて線量分布を検討後実施しています。最近では三次元画像で融合画像を使用することにより総合的な診断が行われ、診断能の向上が計られています。」とお話しされました。

続いて救命救急部長高橋毅先生から「2003年8月、宮崎久義院長、池井聰副院長（現院長）のご尽力により、救命救急センターの認可を受け、現在では全国的に有名な救急病院の一つとなることが出来ました。2009年9月から新病院に移り、広くて設備の整った救命救急センターが完成致しました。40年間の伝統ある救命医療をさらに発展させ、更に質の高い救急医療、信頼される救急医療を提供出来るよう職員一同一丸となって努力して行きたいと思ひます。今後ともご支援の程宜しくお願い致します」とお話

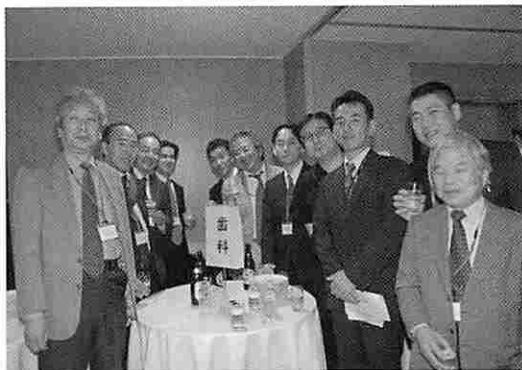
されました。

そして新病院における共同指導の手順について地域医療連携室長片岡茂先生より説明がありました。



最後に熊本市歯科医師会会長清村正弥先生が当開放型病院と歯科医師会との事業提携関係の説明を行い、さらに口腔ケアの重要性と熊本市歯科医師会としての取り組みなどについて紹介をされ、歯科と内科との医療連携による口腔ケアに取り組んでいく方針を確認されました。

自院での歯科手術が困難な場合、国立熊本病院と連携を取ることで、同病院に手術を依頼又は見学及び同病院医師とともに登録医は手術を実施することが出来るようになったことを評価されていたようだ。国立病院紹介を含めて、とても丁寧でわかりやすいお話でした。また参加者も非常に多く、大変実りの多い連絡会になったと思われます。



（医療管理 岡本 勝）

## 乳癌の治療 日常診療で知っておきたいこと

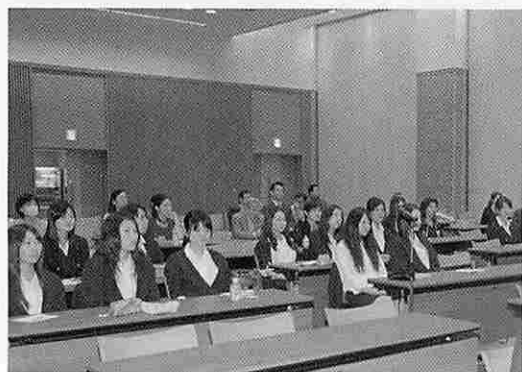
熊本有病者歯科医療研究会主催研修会開催される



10月15日19時30分より、国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センターにて、熊本有病者歯科医療研究会主催の平成21年度第1回研修会が行われた。同

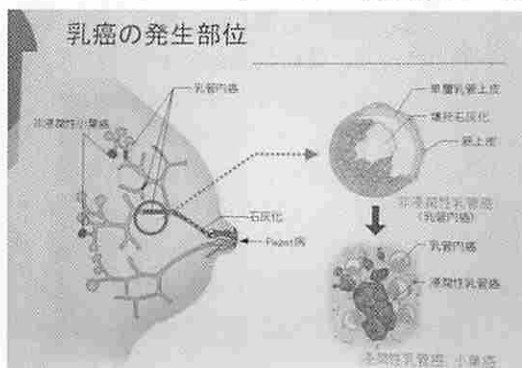
研究会は発足以来18年、全身疾患をもった患者における歯科医療の充実を目的に、主に医科の先生の指導を賜ってきた。特に近年、医学の進歩に伴い様々な病態を持つ患者の受診も増えている。歯科医師及びスタッフが、日頃からこのような勉強会に積極的に参加し、理解を深めておくことが望ましいと思われる。今回は、医療法人社団秋月会 みわクリニック院長の秋月美和先生をお招きし、「乳癌の治療 日常診療で知っておきたいこと」という演題で講演が行われた。歯科医師、歯科衛生士、歯科衛生学院学生、その他、合計約50人が参加した。

まずは、熊本有病者歯科医療研究会会長の川口辰彦先生から開会の挨拶があり、次に座長の熊本市歯科医師会前会長である古賀明先生から講師紹介が行われた。以下に講演内容を報告する。



乳腺に異常を感じた場合、受診するのは婦人科や内科ではなく、外科もしくは乳腺外科である。乳癌の発生部は乳管内で、やがて乳管外へ浸潤していく。乳管内にあるうちは生存率がかなり高い。他のがんに比べると5年生存率は高く、早期発見し治療すれば90%以上は治癒といえる状態まで回復する。但し、死亡率と罹患率は年々増加傾向にあり、部位別の癌罹患率は乳房が女性では第一位である。40代から50代が多く閉経時がピークである。また、全乳癌の1%は男性である。

検査方法には視診、触診、マンモグラフィ、乳腺エコーがある。熊本県では2005年よりマンモグラフィ併用検診が始まったが、受診率が低く、7%程度である。欧米では受診率が約80%と高いため、死亡率は年々減少してきている。マンモグラフィと乳腺エコーの両方を行うことで、より正確に診断が可能となる。もちろん片方を行うだけでも検診しないよりはいいわけだから、怖がって先延ばしにせず、ぜひ受診してほしい。一般に、マンモグラフィは痛いとのイメージが強いようであるが、多少の痛みはあってもほんの数秒であるし、生理前には行わないなどの配慮をすればほとんど問題ない。触診ではわからないようなかなり早期に発見できるメリットは大きい。二年に一回は専門機関での検





診を受け、一月に一回は自己触診を行うこと。自己触診でも80%くらいは約1.8cmの早期段階の癌を自分で発見することが可能である。乳癌が発症しやすいのは、次のような人と言われている。

- ・ 家族にかかった人がいる
- ・ 本人がその他の乳腺疾患にかかった経験がある
- ・ 高齢出産か出産歴がない
- ・ 初潮が早い（11歳以下）
- ・ 閉経が遅い（55歳以上）
- ・ 閉経後の肥満
- ・ 長期間（10年以上）のホルモン補充療法を受けている。

治療法としては、手術（現在はできるだけ保存的に行う）、放射線療法、化学療法、免疫療法がある。抗癌剤を使うと免疫力は低下するので、40%くらいの患者が口内炎になり、痛みや出血

で口腔ケアができずに重症化してしまうことも多い。できるだけ、抗癌剤治療に入る前か投与開始の1週間以内までに、カリエス、歯周病、デンチャーの治療を終わらせておく方がよい。また、唾液の分泌が低下するので、口腔乾燥症や味覚障害にもなりやすい。

最後に、ビスホスホネート製剤に関してであるが、乳癌患者にビスホスホネート製剤を使うのは骨転移の際の高カルシウム血症や骨痛に対し有効であるためである。顎骨壊死が生じると、有効な治療法はないので、歯科治療前に、全身状態や既往歴などについての問診をしっかりと行うことが大事である。また、顎骨壊死が生じた場合はイソジンやクロルヘキシジンによる含嗽、生理食塩水による洗浄などで経過を観察するなどの非侵襲的処置にとどめるほうがよいようである。詳しくは、歯界展望2008年6月号や、日本口腔外科学会の「ビスホスホネート系薬剤と顎骨壊死」を参照されたい。

今回の講演会では、乳癌治療を受けている患者の歯科治療という観点だけではなく、もっと身近な問題として乳癌を知ることができた。ピンクリボン運動をご存知の方も多いと思うが、現在、熊本市でも、より多くの方々に乳癌や乳癌検診について知ってもらおうと、草の根の啓発運動が盛んに行われている。自分は癌にならないという根拠のない自信や無関心は捨てて、自分や自分の家族に身近な問題として考えるべきではないだろうか。ぜひ家族や友人にも検診を受けることを勤めてほしい。

### 男性は乳癌にならないの？

発生頻度は全乳癌のほぼ1%

熊本県での

| 罹患数<br>(人)    | 平成13年<br>4/346 | 平成14年<br>6/331 | 平成15年<br>4/363 |
|---------------|----------------|----------------|----------------|
| 死亡数(平成16-18年) | 1~2人/年         |                |                |

以前は女性に比べて予後不良であったが、最近では変わらない。  
症状: 腫瘍触知、血性分泌



(医療管理 関 喜英)

## 第28回 九州八市歯科医師会役員連絡協議会



10月16日(金)大分全日空ホテルにおいて九州八市役員連絡協議会が開催されました。熊本市からは清村正弥会長と渡辺が出席しました、冒頭開催地大分の会長挨拶より始まり、各市現状の紹介では本市の非会員比率が他郡市に比較してやや多いことが気になりました。開業医数が多くなるにつれ非会員の比率が多くなる傾向にはあるようですが組織率の向上は目指すべき目標の一つで有ると思われます。また、協議題は差し迫った法人改革に関する物が最も多く、その他受診率向上についての取り組みなどがほとんどでした。本市からは違法な医業広告の取り

扱いについて議案を提出していましたが、これには各市頭を抱えているようで(沖縄には無いそうです)、基本的に会員には歯科医師会が指導し、非会員は保健所に通告という形にしているところがほとんどでしたが、中には福岡市のように専門の委員会を設けて徹底した取り組みにより成果を上げているところもあるようでした。今回はそれぞれの会がおかれているバックグラウンドや行政との関係の違いがあるもののいろんな角度からの考えを聞くことが出来たいへん参考になりました。

第28回九州八市歯科医師会役員連絡協議会 出席者名簿

| 会 名          | 会 長        | 専務理事              |
|--------------|------------|-------------------|
| 佐賀市歯科医師会     | 小川 正文      | 駒井 英基             |
| 長崎市歯科医師会     | まつたに 松谷 和彦 | わだ 英行             |
| 熊本市歯科医師会     | きよむら 清村 正弥 | わたなべ 渡辺 猛士        |
| 鹿児島市歯科医師会    | はしぐち 橋口 哲彦 | ※副会長<br>えのき 榎木 隆一 |
| 宮崎県東諸県郡歯科医師会 | かわの 川野 俊吉  | くろき 黒木 晃一         |
| 南部地区歯科医師会    | ながはま 長濱 正  | こじょう 湖城 秀久        |
| 福岡市歯科医師会     | やまもと 山本 達雄 | くまざわ 熊澤 榮三        |
| 大分市歯科医師会     | やまもと 山本 舜治 | ひらおか 平岡 裕         |

《オブザーバー》

| 会 名      | 役 職   | 氏 名        |
|----------|-------|------------|
| 佐賀市歯科医師会 | 常務理事  | うら 浦 嘉訓    |
| 大分市歯科医師会 | 副 会 長 | いのうえ 井上 好信 |
|          | 副 会 長 | なかやま 中山 隆雄 |
|          | 常務理事  | ながお 長尾 威   |
|          | 常務理事  | せぐら 瀬口 清文  |
|          | 理 事   | おうち 大内 啓義  |
|          | 理 事   | くぼ 久保 雅晴   |
|          | 理 事   | あらかね 荒金 伸次 |
|          | 理 事   | ふくざき 福崎 達夫 |

(専務 渡辺猛士)

# 「今年も大盛況だった健康フェスティバル」



今年も10月17、18日の2日間に渡って熊本市民健康フェスティバルが熊本県民交流会館パレアと鶴屋7Fホールにて開催され、たくさんの熊本市民の方で賑わいました。

開会式では主催者として幸山政史熊本市長が挨拶された後、城東小学校6年生4名により健康宣言が宣言されスタートしました。

朝早くからたくさんの方が歯科相談コーナーにも詰め掛けられました。

さて、今年の歯科相談コーナーの来場者数は次の通りでした。



|                 |      |
|-----------------|------|
| 歯科相談……10月17日（土） | 105人 |
| 10月18日（日）       | 93人  |
| （合計）            | 198人 |
| 口臭測定……10月17日（土） | 103人 |
| 10月18日（日）       | 97人  |
| （合計）            | 200人 |
| フッ素塗布…10月17日（土） | 60人  |
| 10月18日（日）       | 40人  |
| （合計）            | 100人 |

結果的にはほぼ例年並みでしたが、口臭測定は測定用マウスピースが200人分しかなく最終的には200人で打ち切りになりました。

歯科相談ではやはり高齢者がほとんどで相談内容は一般的な歯科健診希望者に加え、歯周病についてと入れ歯についての相談が圧倒的に多い様でした。

こういう機会がなくても歯科医院を受診してもらうためには何が必要なのか改めて考えさせられました。

また17日（土）には「8020達成者表彰」も行われ今年は57名中51名の出席者に表彰状と記念品が贈られました。今後も表彰者が増えていくように市民の方々へ口腔ケアの情報を発信していかなければいけないでしょう。

今後の課題としてもっといろんな世代の方々にも積極的に参加してもらえそうなイベントにしていけることが大切だと考えられます。



（地域保健 椿 賢）

# 実施件数ややもちなおす

— 熊本市入院入所者歯科診療運営委員会 —



10月23日に第3回の熊本市入院入所者歯科診療運営委員会を歯科医師会3Fの会議室で行いました。

医師会から副会長ほか2名の先生の出席、本会から副会長、専務、常務、厚生委員会理事、委員長、副委員長、学術の理事の7名が出席しました。

最初、瀬井厚生委員会委員長の平成20年の実績報告があり、年々少しですが件数が増加傾向にある事が述べられました。医師会のご好意により医師会季刊誌に掲載頂く等の広報活動の成果かもしれません。2年程前に医師会側から入院入所者歯科診療に簡単に患者さんを紹介出来るように歯科医師会でホームページを立ち上げてくれませんか、と言う要望がありました。そこでホームページ作成を学術委員会が担当で考えて来ましたが、現行のホームページ作成の進捗状況を小野秀樹学術理事が説明



## <出席者>

|          |         |       |
|----------|---------|-------|
| 熊本市医師会   | 副会長     | 渡辺 健  |
|          | 理事      | 田中 英一 |
|          | 地域医療委員長 | 林田 信夫 |
| 熊本市歯科医師会 | 副会長     | 藤波 好文 |
|          | 専務理事    | 渡辺 猛士 |
|          | 常務理事    | 古川 猛士 |
|          | 理事      | 中川 順一 |
|          | 理事      | 小野 秀樹 |
|          | 委員長     | 瀬井 知己 |
|          | 委員      | 松田 恵  |

しました。席上、医師会の先生から患者さんに関する紹介内容を簡素化してほしいという意見が出ました。そのへんを踏まえて委員会で再度考えて、早急にホームページを立ち上げると言うことで和やかな内に委員会を終了しました。

## 1. 実施状況

|                  | 平成16年           | 平成17年          | 平成18年           | 平成19年          | 平成20年           |
|------------------|-----------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|
| 年間総件数            | 238件            | 112件           | 175件            | 105件           | 202件            |
| 1ヶ月平均件数          | 19.8件           | 9.3件           | 14.6件           | 8.75件          | 16.8件           |
| 年間往診回数           | 482回            | 211回           | 344回            | 222回           | 469回            |
| 1ヶ月平均往診回数        | 40.2回           | 17.6回          | 28.7回           | 18.5回          | 39.1回           |
| 一人当たりの平均往診回数(1件) | 2.0回            | 1.9回           | 2.0回            | 2.1回           | 2.3回            |
| 処置回数総計           | 251回            | 133回           | 175回            | 106回           | 215回            |
| 義歯関係             | 171回<br>(68.1%) | 92回<br>(69.2%) | 146回<br>(83.4%) | 82回<br>(77.4%) | 143回<br>(66.5%) |

年間総件数は、平成16年の238を100としますと、平成17年は47、平成18年は74、平成19年は44、平成20年は85となっています。

以下、平成20年では、1ヶ月平均件数の指数は85、1ヶ月平均往診件数の指数は97となっており平成19年の2倍近い数字となってきております。

また1件あたりの平均往診回数は2.3回で、処置回数総計の指数は86となり、義歯治療者が、66.5%を占めております。

平成20年の受診者は脳血管障害が多く35%を占め、次いで整形外科疾患の18%、大脳疾患・パーキンソンの12%となっております。

## 2. 入院に至った理由（重複）

|              | 男性 | 女性 | 計  |
|--------------|----|----|----|
| ①脳血管障害       | 41 | 51 | 92 |
| ②感染症         | 2  | 0  | 2  |
| ③心臓疾患        | 9  | 16 | 25 |
| ④整形外科疾患      | 6  | 42 | 48 |
| ⑤腎疾患         | 6  | 8  | 14 |
| ⑥高血圧         | 4  | 9  | 13 |
| ⑦悪性新生物       | 6  | 0  | 6  |
| ⑧大脳疾患・パーキンソン | 11 | 21 | 32 |
| ⑨呼吸器疾患       | 3  | 1  | 4  |
| ⑩内分泌疾患       | 7  | 4  | 11 |
| ⑪消化器疾患       | 2  | 1  | 3  |
| ⑫老衰          | 1  | 0  | 1  |
| ⑬その他※        | 2  | 8  | 10 |

※（貧血、低タンパク血症、冷アルブミン血症、高K血症、過換気症候群、シャイドレーガー症候群、廃用症候群）

## 3. 主訴別依頼状況（重複）

|                 | 男性 | 女性 | 計  |
|-----------------|----|----|----|
| ①義歯不適           | 32 | 67 | 99 |
| ②義歯修理           | 10 | 14 | 24 |
| ③義歯新製           | 9  | 36 | 45 |
| ④歯痛             | 20 | 14 | 34 |
| ⑤歯牙脱落           | 2  | 0  | 2  |
| ⑥歯牙破折           | 2  | 1  | 3  |
| ⑦歯牙欠損           | 1  | 0  | 1  |
| ⑧歯牙動揺           | 7  | 10 | 17 |
| ⑨歯冠修復物、充填物脱離、破損 | 3  | 8  | 11 |
| ⑩歯肉痛（腫脹）        | 13 | 11 | 24 |
| ⑪歯肉出血           | 2  | 6  | 8  |
| ⑫口唇裂傷           | 1  | 0  | 1  |
| ⑬舌・口腔粘膜疼痛       | 2  | 2  | 4  |
| ⑭咬合痛            | 2  | 2  | 4  |
| ⑮咀嚼不全           | 1  | 1  | 2  |
| ⑯顎関節痛           | 1  | 0  | 1  |
| ⑰口腔ケア           | 0  | 0  | 0  |

患者の訴えはほとんど義歯関係であり、不適、修理、新製で全体の68%を占めております。

## 4. 年齢別依頼状況

|        | 男 性 | 女 性 | 計   |
|--------|-----|-----|-----|
| 15～19歳 | 0   | 0   | 0   |
| 20～24歳 | 0   | 0   | 0   |
| 25～29歳 | 0   | 0   | 0   |
| 30～34歳 | 0   | 0   | 0   |
| 35～39歳 | 0   | 0   | 0   |
| 40～44歳 | 0   | 2   | 2   |
| 45～49歳 | 5   | 0   | 5   |
| 50～54歳 | 0   | 0   | 0   |
| 55～59歳 | 1   | 0   | 1   |
| 60～64歳 | 8   | 2   | 10  |
| 65～69歳 | 6   | 9   | 15  |
| 70～74歳 | 11  | 17  | 28  |
| 75～79歳 | 16  | 10  | 26  |
| 80～84歳 | 8   | 34  | 42  |
| 85～89歳 | 7   | 20  | 27  |
| 90～94歳 | 6   | 26  | 32  |
| 95～99歳 | 1   | 6   | 7   |
| 100歳以上 | 0   | 0   | 0   |
| 不 明    | 3   | 4   | 7   |
| 総 計    | 72  | 130 | 202 |

年齢区分では、70歳以上の方で80%を占めておりまして、女性が男性の1.8倍です。



## 5. 月別状況

熊本市入院入所者歯科診療年間実績報告書（平成20年分）

|     | 件数  | 往診回数 | 治療内容 |    |      |      |    |                    | 衛生士訪問<br>指導回数 |
|-----|-----|------|------|----|------|------|----|--------------------|---------------|
|     |     |      | 義歯   | 保存 | 歯冠修復 | 歯周治療 | 外科 | その他                |               |
| 1月  | 9   | 23   | 9    | 0  | 0    | 0    | 0  | 0                  | 1             |
| 2月  | 8   | 16   | 6    | 1  | 0    | 0    | 1  | 0                  | 3             |
| 3月  | 17  | 31   | 12   | 1  | 0    | 1    | 3  | 0                  | 6             |
| 4月  | 15  | 31   | 10   | 0  | 2    | 1    | 2  | 0                  | 2             |
| 5月  | 11  | 19   | 8    | 0  | 3    | 1    | 0  | 0                  | 5             |
| 6月  | 17  | 38   | 10   | 4  | 1    | 1    | 3  | 0                  | 9             |
| 7月  | 23  | 43   | 17   | 4  | 0    | 0    | 2  | 0                  | 18            |
| 8月  | 17  | 36   | 11   | 4  | 0    | 1    | 0  | 0                  | 11            |
| 9月  | 21  | 63   | 13   | 6  | 0    | 0    | 1  | 顎関節整復術<br>1        | 18            |
| 10月 | 28  | 73   | 19   | 4  | 6    | 0    | 0  | 口腔ケア 3             | 33            |
| 11月 | 21  | 65   | 16   | 1  | 1    | 1    | 2  | 口腔ケア 4             | 38            |
| 12月 | 15  | 31   | 12   | 0  | 1    | 1    | 1  | 口腔ケア 2<br>マウスピース 1 | 26            |
| 計   | 202 | 469  | 143  | 25 | 14   | 7    | 15 | 11                 | 170           |

- 1) 月平均件数は16.8件、月平均往診回数は39回で衛生士の訪問指導回数は平均14回となっております。
- 2) 治療内容はほとんど義歯関係で全体の66.5%を占めております。
- 3) 歯科衛生士の訪問指導回数は往診回数の36%を占めており、介護を必要とする高齢者の方々の口腔ケアの重要性が認識されております。

## 6. 熊本市医師会会員

### 入院入所者施設病院名一覧（順不同）

- 青磁野リハビリテーション病院
- 熊本地域医療センター
- 聖ヶ塔病院
- 熊本中央病院
- 熊本泌尿器科病院
- 熊本第一病院
- 九州記念病院
- 十善病院
- 江南病院
- 熊本整形外科病院
- サキサカ病院
- 桜間脳神経外科
- 悠愛病院



### <協議事項>

#### 1) 1年間振り返っての反省および要望

年間総件数が昨年の2倍近くに伸びてきており減少傾向に歯止めがかかってきたのか、今後の本制度の動向に期待がもてるようになってきております。今後も医師会会員への本制度の周知に努めてまいります。また、老健施設などへの本制度の告知にも努めるよう医師会側より要望がありました。

#### 2) ホームページからの入院者歯科診療申込書について

案として医師会のホームページの会員向けのページの中に入院・入所者用歯科診療申し込みのホームページにジャンプできるようにする。

申し込みフォーマットについて、医師会、歯科医師会双方で議論を行い、今後の協議については医師会代表として医師会の医療情報委員会と歯科医師会の学術委員会で話し合う。または、入院施設と歯科医師会でメールによるひな形の送信で申込を行う。

（厚生 中川順一・松田 恵）

# 予防の定着化はまだまだ

## ～ 歯たち(20歳)の健診 ～

10月31日(土)崇城大学オープンキャンパスのイベントの1コーナーとして、毎年恒例の「歯たち(20歳)の健診」が行われた。当事業は熊本市歯科医師会、熊本市健康福祉局健康政策部健康福祉政策課健康づくり推進室、各保健福祉センターの協力によりなされている。熊本市歯科医師会からは地域保健委員会の椿賢委員および川口が執務した。この催しは、身体の健康に関心が薄い若者世代を対象に、自分達の健康状態を把握してもらう事で生活習慣を見直すきっかけとし、総合的な健康意識の向上を図る事を目的としている。さらに、定期的に検診を受ける事で、虫歯や歯周疾患予防の重要性を再認識してもらい、「8020運動」を推進させる狙いがある。今年の崇城大学の当コーナーでは歯

科健康相談、ブラッシング指導、唾液緩衝能テスト等が行われた。当日の天気は快晴でキャンパスは多くの若者たち、家族連れで賑わっていた。来場者は健康への関心も高く、歯科相談に139名、唾液緩衝能テストに149名が参加し、総来場者数は232名であった。歯科相談者の多くにカリエスは少なかったが、歯列不正、軽度の歯周疾患は多く認められた。また、半数以上の参加者に「かかりつけ」の歯科医院がなく、「かかりつけ医院」があっても2～3年以上足を運んでいないという回答があり、予防を主体とした「かかりつけ医院」の定着化はまだまだである事が推察された。

(地域保健 川口 孝)

## ＜お勧めの1冊＞

### 船に乗れ！ I 合奏と協奏

### 船に乗れ！ II 独奏

著者●藤谷治 JIVE

いやあ、参りました。のだめ、を当て込んだものかな、と軽い気持ちで手にとったんですが、ど真ん中の青春小説です。自分にもあった甘苦いあの頃を彷彿とさせてくれました。三流音楽高校に入学した僕(チェロ専攻)の3年間の軌跡を追う物語。バイオリン専攻の彼女との出会い、デュオ、トリオでの掛け合い。そして別れ。演奏場面での臨場感はああこの人は実際に随分なレベルまでやっていた人なんだろうなあと思わせます。

田んぼと海しかないところで育った私も高校卒業の時1級下の女子と一緒にいたときにバッハのリュート曲を彼女が酔った勢いでギターで弾いてくれましたが、ショックでしたね。普通っぽい女子がレコードでも聞いたことのない曲をつっかえることなく流れるように弾いていることが。本物はすごい、と思い知ったひと時でした。私とえば、さんざんクリームやレッドゼップの話(クラブトンやページの指使いについていかにすごいかを知ったかぶり)で一人盛り上がっていたんですけどね。

2巻目の腰巻に北上次郎、豊崎由美という強烈書評家の推薦文が載っていますが、そうだそうだが、「一瞬の風になれ」もそんな雰囲気漂う本だったことよ。と一人納得。

3部作でつい最近3巻目が出ました。サブタイトルは「合奏協奏曲」。2巻目で一人になってしまった僕にいったいどんな救いがあるのか、タイトルから救いがあることを期待して、さあ本屋へ走ろう。

(T.F.)

# 学校歯科医基礎研修会



11月7日(土)15時より県歯会館4階ホールにて、学校歯科医研修会が行われた。

「学校歯科保健概論」については日本学校歯科医会の中田郁平会長が講演された。

学校保健は、「学校における保健教育と保健管理」をいう。保健教育と保健管理の活動を直接に行うことによって児童生徒や教職員の健康を維持促進し、心身ともに健康な国民の育成を図るという教育目的の達成に寄与することを目指して行われる活動のこと。

この保健教育と保健管理の活動を円滑かつ効果的に進めるためには教職員や家庭や地域の関係機関、団体等との連絡を親密にする組織活動が不可欠であると述べられた。

「保健管理」については日本学校歯科医会の拓殖紳平副会長より講演があった。

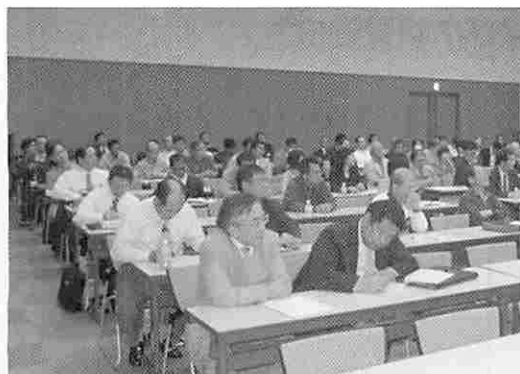
学校における保健管理には、対人管理と対物管理があり、対人管理は歯・口腔の健康観察、歯・口腔の健康診断と事後措置、疾病予防などの必身の管理と児童生徒の生活の管理がある。

対物管理とは学校の環境を衛生的に維持し、また必要に応じて改善することをいう。

「保健教育」については、熊本県歯科医師会学校歯科委員会の大林裕明理事自身が行ってきた活動を述べられた。

その活動の中の一つに老人ホームでのブラッシング指導があるが、ブラッ





シングが上手に出来るとホームのにおいが消えた。ホームのにおいの原因は口臭だったと述べられたのには驚いた。

「組織活動」については、渡辺賢治日本学校歯科医会理事兼熊本県歯科医師会専務理事より、大人部会・子供部会を作り学校関係者、地域の医療関係者など、地域ぐるみの健康づくりを行っている」と講演された。

講演終了後の質疑応答では、

Q 1. 現在、校医をしているので、歯科の授業  
講義をしたいのだが学校側が時間をと  
てくれないので、時間をとる様指導して  
くれないか。

A 1. 学校側（校長）の都合・事情なので、学



校側と相談してください。

Q 2. 本日の講義は基礎的な事ばかりだったの  
でもっと応用的な講義をしてくれないか。

A 2. 基礎研修なので、基礎的な事の確認をや  
りますとの事。

Q 3. フッ素塗布について日本学校歯科医会の  
考えは？（推奨又は反対）

A 3. フッ素塗布については地域性があるので  
何とも言えないが、もっと推奨していく  
様にします。

以上の様な質問・要望が出され時間ギリギリ  
まで盛り上がっていた。

（学校歯科 西 正浩）

## The Crimson Jazz Trio - 2009 - King Crimson Songbook, Vol.1, 2

タイトルで入手。その名の通りクリムゾンの曲をジャズっぽくやっています。もともとクリムゾンってジャズっぽいアプローチもやってましたから違和感はないんですが、どうしても北欧のピアノトリオって理屈っぽいんですね。もっとドガシカでやってくれたら受けるんですけど（って私だけか？）

## Ledisi-Its Christmas

私のひいきにしている人。メジャーデビューのちょっと前に出したクリスマスアルバムです。でもゴスペルに聞こえてしまいます。

## インプラント植立一週間後よりオトガイ部の知覚鈍麻をおこした一症例

いりさ歯科医院 入佐 弘介

近年、インプラント治療関連の医事紛争ケースが急増している。その中でも下歯槽神経損傷による事例が多く割合を占めている。しかしながら、インプラントに起因する神経損傷へのガイドラインはいまだ確立されていないのが事実である。

今回、私はインプラント植立一週間後に右側  
オトガイ部の知覚鈍麻を起こした一症例を経験  
したので、若干の考察を加え報告する。

【患者】：40歳 女性

【主訴】：歯がぐらつく

【初診日】 2008年12月 4 日

【現病歴】：以前より歯が動揺していた、最近になり動揺がひどくなったため当院を受診した。

【既往歴・家族歴】：特記事項なし

【初診時口腔内所見】：欠損歯数は10本、咬合支持数は6で宮地の咬合三角では第二エリア（多数歯欠損症例）であったが、歯周ポケット精密検査・デンタルX線写真でみられるように残存歯には高度の骨吸収と動揺が認められた。

(写真 1・2・3)

【診斷】：侵襲性齒周炎（広汎型）

【治療計画】

重度の歯周病のため、保存可能な歯は11番程度と考えた。患者の年齢および歯周病の進行程度、



写真 1

電磁波ケット精密検査(2008.12.04)

2009年1月14日

[illegible]

写真 2

初稿時 Dental X 線写真 (2009.01.14)

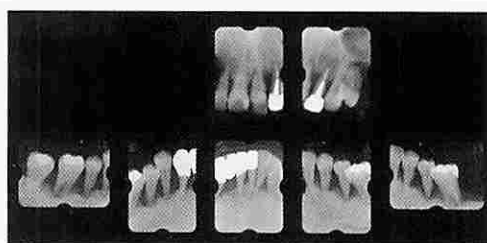


写真 3

A.actinomycetemcomitansやP.gingivalisの存在も考えられたため、残存歯全て抜歯した後、インプラント治療を行うことを計画した。

### 【治療經過】

2009. 01. 30: 残存歯抜歯術施行 (笑気吸入鎮静化下)

2009. 02. 25 : C T 撮影

2009. 03. 18 : 12、13、14、17、21、23、27部  
インプラント植立術施行 (I.V.S.下)

2009. 04. 10 : 32、34、36、42、44、46部イン  
プラント植立術施行 (I.V.S.下) (写真4)

下顎インプラント植立後パノラマX線写真(2003.04.10)

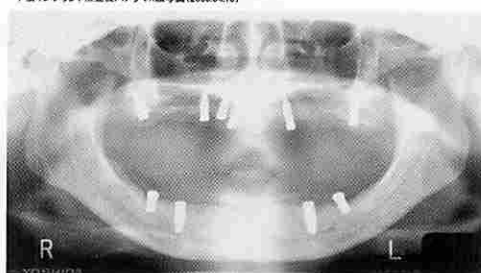


写真 4

下顎インプラント植立後、翌日の消毒時所見では若干の痛み・腫脹は認めたものの、オトガイ部の知覚鈍麻は認めなかった。またその後の経過も順調であったが、一週間後に右側小白歯部の腫脹・疼痛および右側オトガイ部・下口唇の知覚鈍麻が出現した。(写真5)

オトガイ部知覚鈍麻範囲図(2009.04.17)

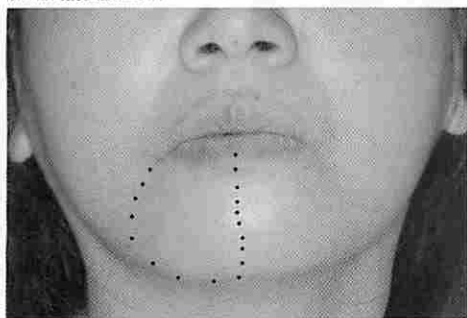


写真5

腫れによる一過性の知覚鈍麻を考え、抗生剤・消炎鎮痛剤・ビタミンB<sub>12</sub>製剤を処方して経過を診た。

しかしながら腫脹・疼痛・知覚鈍麻に変化が認められないため同年4月23日44部のインプラントを撤去した。

撤去したインプラント先端には肉芽様組織を認めた、またインプラントホールを調べたところ遠心方向に骨の吸収を認めた。インプラントホールを搔爬・十分に洗浄した後、排膿路を確保するためにペンローズドレーンを挿入し縫合した。(写真6・7・8)

その後抗生剤・消炎鎮痛剤・ビタミンB<sub>12</sub>製剤を処方しながら、経過観察を行った。

インプラント撤去時写真(2009.04.21)



写真6

インプラント撤去時写真(2009.04.21)



写真7

インプラント撤去時写真(2009.04.21)



写真8

2009. 05. 11: 腫脹 (一)、疼痛 (一)、右側オトガイ部の知覚鈍麻範囲縮小 (写真9)

オトガイ部知覚鈍麻範囲図(2009.05.11)

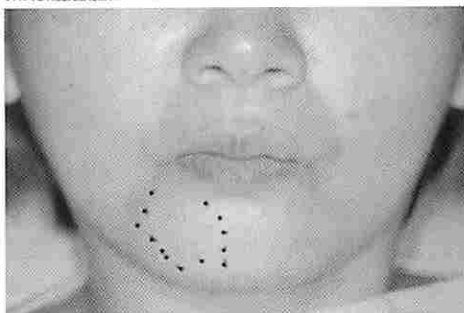


写真9

2009. 05. 19: 腫脹 (一)、疼痛 (一)、右側オトガイ部の知覚鈍麻 (一)

骨の治癒を待った2009. 7. 31: 44部インプラント植立術施行。(写真10)

下顎インプラント植立後パノラマX線写真(2009.07.31)

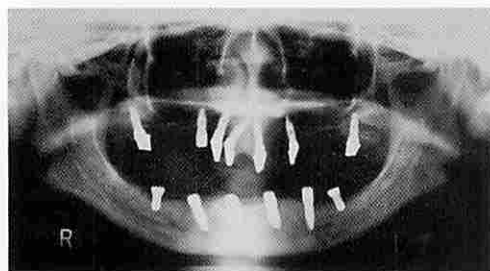


写真10

植立後短い期間であるが現在まで、経過は良好である。

## 【考察およびまとめ】

最高裁判所の過去10年の経過をみると、医療訴訟件数は増加傾向にあり、その中でも医科に比べて歯科の訴訟増加率は高くなってきている。インプラント治療は外科的侵襲が必要な治療であり、また高額な医療費がかかるため、患者の期待にこたえられない場合、トラブルになる可能性が大きい。

本症例は、術後経過は良好だったが植立一週間目にオトガイ部の知覚鈍麻が出現した。この経過とインプラント撤去時の所見から考えると、今回の知覚鈍麻はインプラントホール形成時の火傷から炎症が惹起し、下歯槽神経を圧迫したためと考えられた。圧迫だけで下歯槽神経に直接侵襲を与えていなかったため、早期のインプラント体の撤去と搔爬・排膿路の確保により、撤去後1ヶ月で知覚鈍麻は消失し大事にはならなかった。

しかしながら、下顎管損傷による神経症状の出現はインプラント治療だけに限ったものではなく、大きくは骨折・外科矯正などから、炎症・抜歯処置・麻酔処置(図1)などでも起こる可能性は否定できないので、下顎管損傷時の評価・対処法の理解は大切である<sup>1)</sup>。

インプラント治療による下歯槽神経損傷程度の分類としては高崎らが報告している(図2)。レベル1では、知覚障害を認めないケースが多い、レベル2では、大部分が知覚障害を認める。

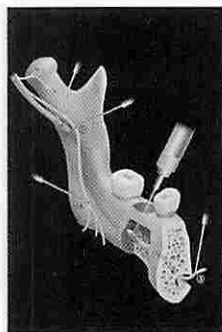


図1  
注射による神経損傷。  
①舌神経(伝達麻酔)。  
②下歯槽神経(伝達麻酔)。  
③オトガイ神経(浸潤麻酔)。  
④舌神経(浸潤麻酔)。  
⑤下歯槽神経(追加麻酔)

図1

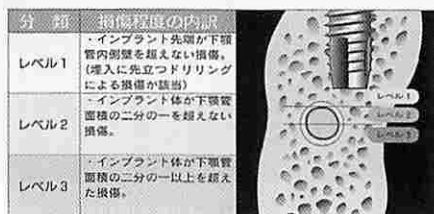


図2  
下顎管損傷程度の分類。  
ゼンタールCT画像から損傷程度を3つに分類。基準は下顎管とインプラント先端の位置関係と下顎管内のインプラントが占める占有率とした。

図2

レベル3においては全例で知覚障害が認められる<sup>2)</sup>。

知覚障害が認められた場合、客観的に評価しその後の治療方法を考えなくてはならない。

知覚検査法は、定量的かつ標準化されたものが望ましく、客観的かつ精密に評価するためには定性的検査を組み合わせ、自覚症状を含めた総合診断が良いとされている。

## (1) 定量的検査

SW知覚検査：静的触覚検査で20段階の力が加えられるSW知覚テスターを用いている。正常域は下唇枝、オトガイ枝ともフィラメント番号の2.36Fmg以下の範囲である再現性やデータ安定性が高く使用法も簡便であるが、正常値に至ったあとも知覚鈍麻や異常感覚が継続するケースが多い<sup>3)</sup>。

二点識別閾検査：静的(s-2PD)および動的二点識別閾(m-2SD)の検査で、各受容器の神経支配密度を測定する。データ安定性がやや劣るものの、もっとも多くの報告がある<sup>4)</sup>。

## (2) 定性的検査

定性的検査は、各刺激に対して認識できるか否かを検査するものである。

【冷覚検査】：試験管および薬杯に冷水やクラッシュアイスを入れ、約3秒間検査部位に接触させ、冷覚を認識できるか否かを検査する。

【温覚検査】：45℃の温湯を用い、冷覚検査と同様の方法で温覚の有無が認識できるかについて検査する。

【痛覚検査】：18ゲージ針を下口唇とオトガイ部に軽く接触させ、痛覚（ちくつとした痛み）の有無を確認する。痛覚が自覚できるようになってからは、デンタルピンセットの先端と背部の屈曲部分を接触させ鋭い形か丸い形かを識別させる。（図3・4）

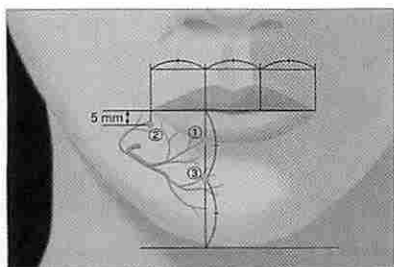
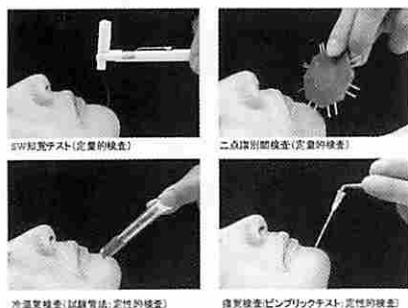


図3 知覚検査部位。

SW知覚テストはオトガイ神経の終末枝である①下唇枝、②口角枝、③オトガイ枝について行い、3ヶ所のうちもっとも悪い値を代表値としている。二点識別検査は①と②の水平方向に行い、最小認識度を測定する。冷温検査の定性的検査は①と②の部位に行う。

図3



冷温覚検査（試験管法：定性的検査）

痛覚検査（ピンプリックテスト：定性的検査）

図4

以上の多角的知覚検査によってインプラント治療後の知覚障害を評価する。

知覚障害の治療は、損傷後早期に行うほど治療状態は良好であるため、知覚評価および治療方針の決定は早期に行うべきである。

治療法としては、保存療法として薬物療法や星状神経節ブロック（SGB）、外科的治療法として異物除去術（下顎管内神経減圧術）や神経修復手術があげられる。

レベル3の症例の場合は、一般的に、神経修復手術の適応となる。その手術時期は可能な限り早期が望ましい。なぜならば、時間の経過と共に治療成績が徐々に低下していくからである〔最も成績が良いのは即時再建であり、早期（翌日～4週）、二次（4週以降）と続く〕。そのためにも、知覚障害診断の最初期の段階で、その適応を検討するべきであり、決して最終手段と考えてはならない。

## 【結論】

今回私は、インプラント植立一週間後よりオトガイ部の知覚鈍麻をおこした一症例を経験した。

下顎管損傷による知覚障害は、歯科医師として避けておきたいトラブルであるが、日常診療を行う上で、危険性はいつもあると考えるべきである。万が一、知覚障害が起きた場合、迅速に対処できるようなシステム作りが必要だと考えられた。

## 【参考文献】

- 1). 植松浩司, 歯科医師のための医事紛争の予防戦略[5]: 予防戦略の概観, the Quintessence 2008;27(5):213-215
- 2). 高崎義人, 下歯槽神経損傷および知覚障害の診査・診断法, Quintessence DENT AL Implantology 2009;16(1):18-27
- 3). 菊池徹行, 他, SW知覚テストによるオトガイ神経支配領域に関する臨床的検討, 口腔顔面神経機能学会誌, 2004;7: 26-27
- 4). 高崎義人, 神経麻痺/患者の説明と対応, 別冊the Quintessence YEAR BOOK 口腔外科ハンドマニュアル '03, 2003: 243-248

# ミラーニューロンと自閉症

—— 他我認識を論点として ——

遠山 啓介

……認識主観の認識論的同型性ということは、認識能力機構のアプリオリな同型性とやらに直接的に照応するものではなく、協働現存在を通じてアポステリオリに形成された共軛な在り方の一位相にほかならない。  
(世界の共同主観的存在構造 廣松 渉)

ミラーニューロンとは

今年の5月、ミラーニューロンに関する本が2冊刊行された。私自身、脳科学に関する他の本でその細胞の存在、機能について概略は知っていたので、今回興味を持って読んだ。ところで、ミラーニューロンとは何か？1990年代、イタリアのパルマ大学で、サルの下前頭皮質の神経細胞に電極を刺入して、特定の機能を調べる実験をしていて、それは偶然発見された。ある実験者が何か（例えば餌）を取ろうとしたその時、それを見ていた、電極を刺入されているサルにおいて、本来サル自身が餌を拾う時に活動する細胞に電位の変化（発火）が見られた、その後の追試により、サルがその時見た他者の運動を、あたかも自身が実際行動しているかのように、脳内でシミュレーションしている事が観察された。さらにその後の実験により、単に行動をシミュレートしているだけでなく、他者の行為の意図もくみ取れるのではないかと推測される様な結果も得られている。

\*ミラーニューロンについて……ミラーニューロンという特有の神経細胞が有るのではなく、ミラーニューロンを含むネットワークであり、神経群である。運動前野や頭頂葉皮質など脳の両側にある重要な領域に広がっているとされる。このニューロンは他者の行為を観察者

の脳内に直接写し出しているように見えることからミラーニューロンと呼ばれる。

ヒトにおけるミラーニューロンの機能

それでは、ヒトの場合、このようなミラーニューロンの機能が存在するのであろうか。ヒトの場合、脳の細胞に電極を刺して研究することは、特殊な場合を除き難しいので、微細なデータを得ることは難しい。しかし、経皮的な測定、例えばfMRI（機能的核磁気共鳴画像法）あるいは、TMS（経頭蓋磁気刺激法）などによる実験では下前頭回と上頭頂葉において、ミラーニューロンシステムが構成されている事を示すデータが得られている。

上述のような事象が、実際に脳内で起きているとすれば、それは様々な意味において認識機構の存在様式、そしてその究明に大きな変革を余儀なくすると思われる。なぜなら、従来の見方として、例えば他者の行動を真似る場合を想定すると、ヒトは先ず、目で知覚し、その情報に基づき脳内において様々な統合的認知作用が行われ、そしてそれが行動として出力されるという過程を辿るはずであった。しかし、ミラーニューロンのそれは、知覚、認知、運動と、分離した機能がそのたびに統合されるのではなく、最初から全体論的に世界と関わっていることを意味している。

又、未だ精確な実験データが得られているわけではないが、ミラーニューロンは、ヒトにおいては帯状皮質や島など他の部位にもあり、他者に共感する反応に関係している可能性が示された。この「共感ニューロン仮説」に従えば、他人が感情を表しているところを見ると、私達自身が感情を有しているかのように関連する神経細胞が発火し、そしてこの発火によって、

大脳辺縁系の感情を司る脳中枢に信号が送られ、それが我々に他人の感じている事を、あたかも自分自身が感じているかのように感じさせると推測されている。又、前帯状皮質の研究で、通常痛みに対応して活性化するある種のニューロンが、他人が痛がっているのを見たときにも活性化するのが見られた。

上記のことは、われわれの認識機序、認識システムにさらに大きな考え方の変革を余儀なくする。ミラーニューロンの本来の機能は、他者の行動に反応するはずのものであった。しかし、私達の脳は観察された他人の苦痛経験のシミュレーションを成り立たせていると思われるデータすら示している。即ち、痛みは基本的に個人の経験であるが、私達の脳はそれを他人と共有される経験として、処理していることになる。また、模倣にも関係し、言語の生得的学習にも関与しているのではないかと考えられている。このようなことは、ある意味社会的な認知能力システムとして機能する神経系のネットワークとも言えるであろう。それは、他我認識の基礎を構成しているとも言っても過言ではない。

#### 他我問題とは

近代哲学のテーマとして「他我問題（認識）」というものがある。非常に簡略化して言えば、我々は果たして「他人の心」を知ることが出来るのか？私の意識はあくまで私の意識であり、他人の意識は直接には意識できないのではない。しかし、多くの場面で我々は他者の思いを、考えを了解しながら生きている。何故、それはある意味可能か？私は、冒頭に引用した著作「世界の共同主観的存在構造」に述べてある論述に、その答えの一断片、あるいはヒントを見いだす。この内容をこのコンテキストに則して、非常に簡略化して言えば、即ち、言語的交通を介して、ヒトは通常共同主観的に同型的な認識主観という在り方へと自己形成を遂げていくと言う論考である。但し、一言付言しておかねばならないことは、上記に述べた他我論考は、あくまで一つの思想であり、他に様々な議論、主

張がある。ここで私がさらに付言したいのは、上記の共同主観（他我認識の基盤としての）の形成にミラーニューロンが一役買っているのではないか、ということである。

ところで、この様な他我認識が最も顕著に阻害されているのが、あるいは希薄化しているのが自閉症ではないか。以下、その事について、ミラーニューロンとの関わりを視野におき論及してみたい。

#### 自閉症について

自閉症という広汎性発達障害に分類される疾患がある。その原因に関しては諸説有り、定説はない。例えば、遺伝子の異常説、「心の理論」の適用あるいは母原病説など。一時期、情緒障害など心因説も流布したが、今日では「てんかん」などの神経症状を併発する場合もあり、大方脳自体の障害と考えられている。自閉症の定義概念として、診断基準というのがある。自閉症を始めて報告したアメリカの精神医学者カナーの名を取って、カナーの診断基準が有名である。しかし、今日では一般的にアメリカ精神医学によるDSMの診断基準によることが多い。

\* 自閉症は症例が多彩であり、健常者から重度の自閉症までの間に明確な切れ目が無く、境界が不明瞭であるため自閉症スペクトラム、あるいは自閉症連続体などと言われている。アスペルガー症候群も含まれる。

その診断基準に挙げられている症状は以下の様に要約される。

- ◎ 対人相互反応の質的な障害
- ◎ 意思伝達の著しい異常又はその発達の障害
- ◎ 活動と興味の範囲の著しい限局性

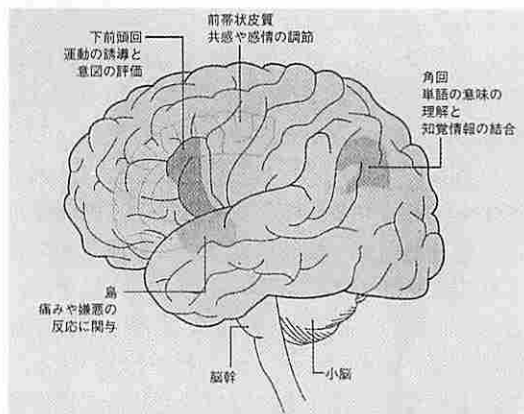
上記の診断基準において、その大きな要素を為すものは言語の障害であろう。又、その他、対人的孤立、共感の欠如など社会性の欠如が特徴的である。

## ミラーニューロンと自閉症

今日、上記のような特徴的な症状から、自閉症の原因として「ミラーニューロン仮説」が提唱されている。主にカリフォルニア大学で為された研究であるが、即ち自閉症でうまく機能していないと思われる脳の機能は、ミラーニューロンが果たしている機能不全と同じではないかと勘考、推測された。例えば、ミラーニューロンシステムが他者の意図の解釈に関与しているとすれば、この神経回路の機能不全により、自閉症の最も特徴的な社会関係形成の困難さを説明できるのではないか。あるいは言語障害、共感の欠如、模倣行為の欠如など、ミラーニューロンの機能不全に多々オーバーラップしている所見が見られることなど。現在、世界の研究機関においてそれらを実証すべく色々な研究がなされている。ここでは詳細は割愛するが、脳波の一つの「ミュー波」による比較実験は、自閉症におけるミラーニューロンの活動低下を示す信頼性の高いデータを提示していると考えられている。

上述の様な所見から、自閉症の病因として、ミラーニューロンの機能不全がクローズアップされ始めている。この仮説は、確かに自閉症の示す多彩な症状の全てを説明できるものではない。現時点では未だ仮説であるが、今後実験機器の精度の向上、アプローチの工夫などにお

いて、より正確なデータが集積され、そして精密な解析が可能になれば、自閉症の病因とミラーニューロンとの関連性が明確になるのではないか。又、そのように期待する。なぜなら自閉症の病態とミラーニューロンの機能の意味する内実に、符合する内容が多いからである。また、その関わりが明確になれば治療方法の解明にも繋がるはずである。



### <参考文献>

- ・廣松 渉 世界の共同主観的存在構造 勁草書房
- ・マルコ・イアコポーニ  
ミラーニューロンの発見 ハヤカワ新書
- ・ジャコモ・リゾラッティ&コラド・シニガリア  
ミラーニューロン 紀伊国屋書店
- ・日経サイエンス 2007年 2月号
- ・滝浦 静雄 「自分」と「他人」をどうみるか NHKブックス
- ・西田 百代 障害者歯科の手びき 相川書房
- ・熊谷 高幸 自閉症からのメッセージ 講談社現代新書

## Testament Paris London 2008 keith jarrett

キースのソロコンサートの記録はBremenから始まり、Kornで売れて。その後、スカラ座、ミュンヘンなど珠玉、といえるものがたくさんありますね。それらの中で特に圧倒的に迫ってくるのは何と言っても76年の秋に日本を巡った「サンベア」でしょう。LPで出た時はその分量と値段にビビって手が出せませんでしたが、CDになり大人買いして、年に一度はとおして聞くのがこの時期です。そうして今回は久しぶりのソロ。昨年の暮れにやったもの。ようやくひとりのできるまで元気になったのね。

さて中身ですが、パリでは、ブーランク、ドビュッシーなどを彷彿とさせる印象派的なフレーズが流れます。後半のロンドンでは随所に響くポップなメロディが気持ちいい。でも、「testament」ってなに？聖書？遺書？（おじさんの）主張？いまだ主張でもないだろうし、やっぱり遺言なのか？

と言ってるうちに、なんと珍しや！（チェックが厳しく、イリーガルはすぐ削除されます）ついこの間のソロコンサートの音源が手に入りました。アップされていたのはほんの一瞬だけど、うまくDLできました。

Keith Jarrett Berlin October 12 2009 Set1 50分超のライブ、mp3で1stセットのみですが、testament tourに負けなブレイを聞かせてくれます。もしかしてこれはブートレグで終るかも、大切にとっとくことにしよう。

## 熊本市歯科医師会理事会親睦ゴルフコンペ観戦記



11月8日（日）、秋晴れの快晴の中、九州ゴルフ倶楽部小岱山コースにて戦いは始まりました。

第1組に合沢、田中、斉藤がスタートしました。斉藤は体も大きくドライバーショットもなかなかのものでしたが、スコアがまとまりませんでした。キャディが若かったので、途中でいつもの病気が出たのではないのでしょうか。合沢は腰痛と膝痛にもかかわらず健闘しました。田中も健闘しましたが、広報委員会が忙しいのか、もう少し、練習が必要です。

第2組に稲葉、工藤（植木にて開業、近日に熊本市に入会予定）、渡辺、ヨン様がスタートしました。この組にはおいしいおにぎりがつきまして、みなさん健闘しましたが、やはり稲葉の首位は変わらず、稲葉にヨン様がついていくという形になりました。しかし、おにぎりは渡辺がほとんど取り上げてしまい、おにぎりを提供した工藤が熊本市に入会する入会金がなくなってしまったそうです。

結果的にダブルペリア方式によりヨン様の優勝ということで決着しました。（日頃の行いでしょう）

追伸

前夜、4人で中国語の勉強会を某所で行い、午前3時まで、猛勉強が行なわれましたが、副会長と常務で監事2人をいじめたという事で、合沢監事が次の理事会で、これを議題に出すとか出さないとか。

結果的に、合沢先生と工藤先生は泣きながら帰宅されました。

### コンペ結果

11月8日  
九州ゴルフ倶楽部 小岱山コース

| 順位 | 氏名    | OUT | IN | GR  | HDCP | NET  |
|----|-------|-----|----|-----|------|------|
| 優勝 | 與儀 実彦 | 40  | 40 | 80  | 7.2  | 72.8 |
| 準優 | 稲葉 逸郎 | 39  | 38 | 77  | 3.6  | 73.4 |
| 3位 | 工藤 隆弘 | 48  | 44 | 92  | 16.8 | 75.2 |
| 4位 | 合沢 康生 | 50  | 49 | 99  | 21.6 | 77.4 |
| 5位 | 田中 弥興 | 48  | 52 | 100 | 21.6 | 78.4 |
| 6位 | 渡辺 洋  | 45  | 43 | 88  | 9.6  | 78.4 |
| 7位 | 斉藤 忠継 | 65  | 48 | 113 | 28.8 | 84.2 |

（與儀実彦）

## 熊市歯移動理事会 米米惣門ツアー編

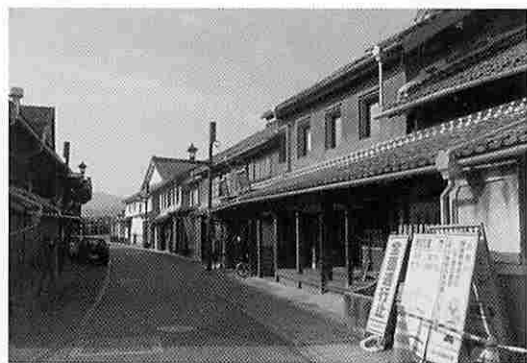
11月7日(土)本会理事会で年間恒例行事となっている移動理事会が今年も行われました。行先は山鹿温泉、例年であれば移動先で理事会をしますが距離も近いので、歯科医師会館での理事会開催後に出発することとなりました。簡潔に手短けに行う予定であった理事会は協議内容が多いため、例会と同じく1時間半を要し少々疲れ気味で山鹿へと出発した理事会メンバーでした。

山鹿中心部にある寿三(すみ)ホテルに到着後さっそく最上階展望の湯へ、程よいぬるめの湯加減に一人また一人と理事が集まり、気がつけば全員湯船の中に集合しこれぞまさしく移動理事会!会議室とは違った協議に熱が入り、ぬるめの湯加減とはいえのほせそうになるまで協議しました。その後の宴会では鹿本郡市の原賀滋久会長と高水間奨常務理事に参加していただき、懸案事項である植木町の熊本市合併問題についてなどの意見交換を行いました。協議の多い理事会もやっとの乾杯となった後ではいつもと変わらない宴会、ホテル自慢の料理と、原賀会長差し入れの地酒に舌鼓を打ちました。



この時期、山鹿八千代座には坂東玉三郎が公演に来ており、宿泊したホテルにも講演スタッフが宿泊していた。そういえば、歌舞伎歩きの男性もいたような…。

翌朝、ゴルフ組と米米惣門組とに分かれ行動することになったが、米米惣門組はなぜだか(後でなるほどと思うのだが)飲んべーばかりの集まりだ。



この米米惣門ツアーというのは

『キーワードは“米”。豊前街道筋の下町惣門地区は米の集散地として栄え、今でも酒蔵、味噌蔵、米蔵が並び懐かしい風情の残る町並みです。ここを地元商店街の人がユーモアを交えて案内してくれるツアーです』というもので、約一時間の散策コース。このコースに参加した面々は、木屋こうじ屋で米を材料にした味噌、醸造酢、の解説を受け、甘酒を飲みつつもそそくさと隣の千代の園酒造へと足が向いた。米を原料にしたものと言えばやはり酒、さっそく利き酒となったが、色々なお酒の説明を聞きながらの味見は何とも幸せなものである。さて3つ目の米は玄米を使った手作りせんべい。ユーモアな店主の話に知らず知らず引き込まれながら、一枚一枚手作りのせんべいの実演と体験、1枚2秒で出来るということだが、これを続けるのも根気があることだ。最後の米は光専寺。ここは境内に江戸時代の豪商宗方屋が寄進した一切経を納めた経蔵があり、これの宗方屋は米問屋で財を成した商人でこれも米である。



こうして、米米惣門ツアーを終えた一行は次の見学地“花の香”へと急いだ。花の香酒造は3年前にも訪れ、特に美人社長の噂は知れる所となっていました。



この酒蔵は玉名郡和水町西吉地で、地名にちなんだ多くの酒、米焼酎、芋焼酎を作っています。熊本でも芋焼酎とは時代の流れなのでしょうかね。千代の園でもそうであったように、やはり酒蔵の中で飲む利き酒はおいしく普段強面の理事の方々も利き酒のしすぎか、美人社長のせいかな、和やかな雰囲気、チビチビだった利き酒も次第にグビグビとなり、ほろ酔い気分酒蔵巡りを終えました。特に好評だったのは、冷蔵庫に保存されていた生酒、その名も地名の“吉地”。この時期わずかに6本残ってるお酒のうち1本を試飲し、残りのうち4本をお土産に購入となりました。太っ腹なことに社長から試飲の残り酒をプレゼントしていただき大満足の面々です。昼食の平山温泉“わらび”で豆腐料理と共に花の香酒造社長にいただいた残り酒をさらに堪能し、飲んべーツアーと化した移動理事会は終了しました。(小野秀樹)

## 広報委員会



- ①氏名
- ②開業場所・開業年数
- ③家族構成

- ④最近感動したこと、憤慨したこと
- ⑤委員会に所属しての感想
- ⑥趣味、特技、私のこだわり、など



①田中 弥興

②龍田 北部2 23年

③妻、長男27歳、長女23歳、小型犬1匹 4ヶ月  
(只今、しつけに奮闘中、よく物をかみます。)

④感動：子供たちの国家試験合格、感動と同時に  
“ホッ”としました。

イチローの年間200本安打達成新記録とニューヨークヤンキース 松井秀喜選手の日本人初MVP、二人の不屈の精神力に感動しました。

憤慨：いっぱいあって書ききれません。

⑤広報担当理事を拝命し、早半年が過ぎました。一番文章を書くのが苦手な私でしたが、周りの諸先輩や委員の先生方に助けてもらい、ここまでやってこれました。

今後とも原稿等でお世話になるとは思いますが宜しくご指導の程お願いいたします。また、中岳やかわら版、その他にご意見やご要望、アイデアなどがありましたらご教示ください。

⑥歴史本読書、絵画、映画鑑賞、旅行 ちょっとゴルフ これではメタボは直りませんね。

今後は何か体を動かすのをこの中に入れなければ…



- ①前川 研二
- ②画図町重富 南部 13年
- ③妻、長男、長女
- ④松井のMVP
- ⑤温厚な先生方です。よろしくお願いします。
- ⑥パチンコ (1円)



- ①鬼木 泰久
- ②御幸笛田 南部 8年
- ③妻、長男、次男
- ④新型インフルエンザワクチン接種で、歯科が医療従事者からはずされた事
- ⑤広報委員会に入って3期めになりました。  
今だに自分の文才のなさに落ちこんでいます。
- ⑥釣り、パソコン



- ①高木 雅子
- ②上通中央 8年
- ③父、母、弟
- ④感動：ヤンキースの松井選手が7年目にして、最高の形で本懐を遂げたこと。  
憤慨：事業仕分け作業のニュースを見ながら「時給¥5,000のお仕事って何？」
- ⑤今回は、会長も変わり、理事も交代、私自身は、ちっとも成長してませんが、少しでも変化の風を感じています。
- ⑥1) 英会話：ひたすら現状維持の状態ですが、仕事以外で頭を使い、異業種の方々とお話するのを楽しみに。  
2) フィットネスクラブ：汗とともにストレスも洗い流されるのですが…  
3) おいしい飲み物食べ物：運動後はさらにおいしい！というわけでおいしく頂く為に運動しているような気が。



① 鯨川 正和

② 花立 東部 4 7 年

③ 妻 (36才) 長男 (4 才)

④ 感動したこと…楽天イーグルスのCS進出

⑤ 2 期目ですが、まだまだ不慣れな事が多く教えてもらいながら頑張っています。皆さん親切で委員会に来るのが楽しみです。

⑥ 趣味…ゴルフ、スロット

特技…目押し



① 飯田 誠治

② 長嶺東 東部 3 10 年

③ 妻、長女、長男

④ 楽天 (プロ野球) の大躍進

大分トリニータ (J1) の J2 降格

⑤ 中岳の制作はこんなに大変だったのだと痛感しました。

⑥ テニス、酒、子供と遊ぶこと



① 濱坂 上

② 大江 東部 1 3 年

③ 妻、長男

④ 感動した事…特に無し

憤慨した事…歯科医師も医療従事者であるが、何事、新型インフルエンザワクチンを初めに受けられないのか？

⑤ 雰囲気の良い人々により作られた会です。従い気持ち良く仕事が出来ます。

⑥ 趣味…ビーチコーミング



# スポーツの広場



## 熊本デントル

10月25日（日） 10名

|      |       | OUT | IN | GRO | HP   | NET  |
|------|-------|-----|----|-----|------|------|
| 優勝   | 渡辺 博  | 42  | 47 | 89  | 18.0 | 71.0 |
| 2位   | 松本 光示 | 40  | 40 | 80  | 8.4  | 71.6 |
| 3位   | 大嶋 健一 | 45  | 43 | 88  | 15.6 | 72.4 |
| 4位   | 三 咎 司 | 42  | 48 | 90  | 15.6 | 74.4 |
| 5位   | 内田 隆  | 46  | 45 | 91  | 15.6 | 75.4 |
| B.B. | 渡辺 洋  | 50  | 51 | 101 | 20.4 | 80.6 |

11月29日（日） 9名

|      |       | OUT | IN | GRO | HP   | NET  |
|------|-------|-----|----|-----|------|------|
| 優勝   | 稲葉 逸郎 | 39  | 43 | 82  | 12.0 | 70.0 |
| 2位   | 松本 光示 | 40  | 44 | 84  | 10.8 | 73.2 |
| 3位   | 渡辺 洋  | 48  | 44 | 92  | 16.8 | 75.2 |
| 4位   | 三 咎 司 | 44  | 45 | 89  | 13.2 | 75.8 |
| 5位   | 甲斐 利博 | 46  | 45 | 91  | 14.4 | 76.6 |
| B.B. | 大嶋 健一 | 46  | 44 | 90  | 12.0 | 78.0 |

## あつまるデントル

7月12日 12名

|      |       | OUT | IN | GRO | HP | NET |
|------|-------|-----|----|-----|----|-----|
| 優勝   | 浜坂浩一郎 | 50  | 51 | 101 | 30 | 71  |
| 2位   | 山室 紀雄 | 46  | 45 | 91  | 16 | 75  |
| 3位   | 谷川 貞男 | 47  | 43 | 90  | 15 | 75  |
| 4位   | 宮崎 幸一 | 46  | 44 | 90  | 14 | 76  |
| 5位   | 大森 秀則 | 52  | 50 | 102 | 25 | 77  |
| B.B. | 坂井 満  | 51  | 51 | 102 | 16 | 86  |

8月19日 15名

|      |       | OUT | IN | GRO | HP | NET |
|------|-------|-----|----|-----|----|-----|
| 優勝   | 浜坂浩一郎 | 48  | 47 | 95  | 29 | 66  |
| 2位   | 宮崎 幸一 | 42  | 43 | 85  | 14 | 71  |
| 3位   | 奈良 健一 | 41  | 44 | 85  | 13 | 72  |
| 4位   | 大森 秀則 | 51  | 46 | 97  | 25 | 72  |
| 5位   | 田村 実雄 | 50  | 46 | 96  | 23 | 73  |
| B.B. | 関 剛一  | 48  | 50 | 98  | 17 | 81  |

9月6日 17名

|      |       | OUT | IN | GRO | HP | NET |
|------|-------|-----|----|-----|----|-----|
| 優勝   | 田村 実雄 | 46  | 48 | 94  | 23 | 71  |
| 2位   | 大森 秀則 | 52  | 46 | 98  | 25 | 73  |
| 3位   | 本田 治夫 | 48  | 52 | 100 | 25 | 75  |
| 4位   | 古賀 明  | 44  | 46 | 90  | 15 | 75  |
| 5位   | 谷川 貞男 | 46  | 44 | 90  | 15 | 75  |
| B.B. | 浜坂浩一郎 | 51  | 59 | 110 | 23 | 87  |



# 新人です！よろしくお願ひします

## 新 入 会 員 紹 介



|       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 氏 名   | 坂元 彦太郎                            |
| 診療所名  | ヒコデンタルクリニック                       |
| (診療所) | 〒862-0960 熊本市下江津 7-7-1            |
|       | 電 話／096-370-1181 FAX／096-370-1185 |
| (自宅)  | 〒860-0062                         |
|       | 熊本市高橋町 2-2-1                      |
| 生年月日  | 昭和51年12月31日                       |
| 趣 味   | お酒を飲みに行くこと。                       |
| 好きな言葉 | 特になし                              |
| 経 歴   | 熊本西高校                             |
|       | 神奈川歯科大学 H15年卒                     |
|       | 熊本大学歯科口腔外科 2年間勤務                  |
|       | 荒尾市ふじもと歯科医院 3年間勤務                 |



# 会 務 報 告

## 理 事 会

| 月 日    | 協 議 題                                                                                                                                                                            |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8月20日  | 会務・庶務・会計報告<br>ネットスパートについて<br>三歯会について                                                                                                                                             |
| 9月29日  | 有病者歯科医療研究会の年度後半テーマ<br>会務・庶務・会計報告<br>ネットスパート報告<br>定款検討臨時委員会の立ち上げについて<br>有病者歯科医療研究会次期演題について                                                                                        |
| 10月22日 | 医商連携型街づくり事業委員会および“街なか図書館”について<br>会務・庶務・会計報告<br>事務局会費ソフトの変更について<br>定款検討臨時委員会について<br>ネットスパート設置状況<br>入院入所者歯科診療申込書について<br>第28回九州八市歯科医師会役員連絡協議会報告<br>熊本市民健康フェスティバル報告<br>有病者歯科、医療研究会報告 |

## 地 域 保 健 委 員 会

| 月 日    | 協 議 題                                                    |
|--------|----------------------------------------------------------|
| 8月27日  | フッ化物塗布事業出務確認<br>健康フェスティバル出務確認                            |
| 9月17日  | 子育てすくすく子ども博出務確認<br>子育てすくすく子ども博出務確認<br>歯たちの健診出務の件         |
| 10月23日 | 健康フェスティバル出務確認<br>フッ素塗布・歯たちの健診の出務報告<br>健康フェスティバルの人員配置について |

## 社 保 委 員 会

| 月 日    | 協 議 題                               |
|--------|-------------------------------------|
| 8月19日  | SPTの検討<br>個別指導後の対応について              |
| 9月16日  | 改善指摘事項の検討<br>個別指導該当者への対応について        |
| 10月28日 | レセプトオンライン化の対策について<br>緊急社保説明会の実施について |

## 学 校 歯 科 委 員 会

| 月 日       | 協 議 題                                                                                                                                                   |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8 月 28 日  | 三歯会<br>熊本市西部ブロック養護教諭研修会<br>第49回熊本県学校保健研究会協議大会（八代市）<br>平成21年度熊本市学校保健会第1回企画委員会<br>平成21年度熊本市学校保健会第1回総務委員会<br>事業所健診依頼（ヤクルト）<br>健康フェスティバル                    |
| 9 月 30 日  | 思春期歯科保健推進モデル事業会議<br>歯磨き巡回指導、後期、一部日程変更<br>健康フェスティバル確認<br>思春期歯科保健推進モデル事業、担当者会議<br>平成21年度第1回熊本市エイズ総合対策推進会議<br>ヤクルト上熊本工業企業健診<br>熊本市学校保健会第2回理事会<br>県学校歯科医研修会 |
| 10 月 30 日 | 歯磨き巡回指導の確認<br>健康フェスティバルの報告<br>学校保健会理事会報告<br>学校歯科研修会                                                                                                     |

## 厚 生 委 員 会

| 月 日       | 協 議 題                                                   |
|-----------|---------------------------------------------------------|
| 8 月 21 日  | 健康診断の割り合て<br>代診制度の規則見直し<br>入院入所者の整理                     |
| 9 月 25 日  | ビアーパーティーについて<br>新年パーティー企画                               |
| 10 月 16 日 | 「入院入所者歯科診療月別実績報告書」集計<br>「入院入所者歯科診療月別実績報告書」集計<br>新年会の案内状 |

## 医 療 管 理 委 員 会

| 月 日                             | 協 議 題                                               |
|---------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 9 月 3 日<br>10 月 2 日<br>10 月 5 日 | 三歯会開催<br>本会への医療相談について<br>国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会について |

## 広 報 委 員 会

| 月 日    | 協 議 題         |
|--------|---------------|
| 8 月11日 | 中岳146号レイアウト   |
| 8 月24日 | 中岳146号第 1 回校正 |
| 8 月28日 | 中岳146号第 2 回校正 |
|        | かわら版 9 月号編集   |
| 9 月30日 | かわら版10月号編集    |
|        | 写真整理          |
| 10月29日 | 中岳147号目次決め    |
|        | 80周年スライド検討    |
|        | かわら版11月号編集    |

## 学 術 委 員 会

| 月 日     | 協 議 題                      |
|---------|----------------------------|
| 8 月11日  | 歯科医師会ホームページ掲載の各医院の紹介確認について |
|         | 公益法人化について                  |
|         | 代診制度について                   |
|         | 学術講演会について                  |
| 9 月10日  | 11月の講演会の役割分担               |
|         | 来年の講演会予定について               |
| 10月 8 日 | 11月の講演会について                |
|         | 来年度の講演会について                |
|         | 有病者歯科医療研究会での講演テーマ募集について    |
|         | E－システム研修会の登録について           |

## 編 集 後 記

先日4才になる息子の保育参観に行ってきました。保育園での息子は家とは違って、自分の事は自分でい、テキパキと動いていて、ビックリすると共に、その成長ぶりには目を見張りました。親バカですが保育園で頑張っている息子の姿を見て、私ももう少し気合いを入れて仕事をしなければと思うのでありました。

(M. A)

### 熊本市歯科医師会会誌

#### 第 147 号

発行日 平成21年12月15日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目4番15号

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~kdc8020/>

[mail:kda8020@msg.biglobe.ne.jp](mailto:kda8020@msg.biglobe.ne.jp)

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発行  
責任者

清 村 正 弥

印刷所 コロニー印刷

熊本市二本木3丁目12-37

TEL 096-353-1291 FAX 096-353-1294

